

特記事項の書き方

共通事項

日頃から普通にでき、気になるところがない場合に限り空欄でよい(必須項目除く、器具類を使用している場合除く)。それ以外は全て記載してください。

記載例：○○○○○○○○○「2. 何かにつかまればできる」を選択する。○○○○○○○○○

上記のように**何を選択したかを必ず書いてください**。○は「選択根拠」「手間」「頻度」、実際に行った状況や日頃の状況、または気になること等。

特記必須項目

(2-12)外出頻度	どの選択肢でも状況を書いてください。
(3-1)意思の伝達 (3-2)毎日の日課を理解 (3-3)生年月日や年齢を言う (3-4)短期記憶 (3-5)自分の名前を言う (3-6)今の季節を理解 (3-7)場所の理解	できても、できなくても、「何を聞いて」「どう答えたか」を書いてください。
(5-6)簡単な調理	介助されている場合は能力が有るかどうかも書いてください。
(7-1)障害高齢者の 日常生活自立度	自立の場合は、 全く障害等を有しないので「自立」を選択する。 と書いてください。 自立以外を選択した場合は、特に『移動』に着目し、 具体的な状態と選択したもの を書いてください。
(7-2)認知症高齢者の 日常生活自立度	自立の場合は、 全く認知症を有しないので「自立」を選択する。 と書いてください。 自立以外を選択した場合は、 具体的な状態と選択したもの を書いてください。

各状況の基本的な記載例

有無	実際に行った結果と日頃の状況が違う(同じ)場合 (麻痺・拘縮)	上肢と下肢の麻痺等の有無の 確認方法に示す動作が行えるかどうか確認したところ 、問題なくできたが、 家族の話では 、日頃は左上肢ができないとのこと。 より頻回な状況に基づき「2.左上肢」を選択する。
	精神・行動障害 (周囲の対応や手間は無関係だが特記には書く)	現在、自宅で家族と同居しているが、毎日「家に帰る」と言い出し、家の中をうろろしだし落ち着きがなくなるため 「3.ある」を選択する 。普段は、特に対応しなくてもそのうち落ち着くが、月に2~3回興奮して暴れるときがあり、 そのたびに家族はなだめなければならず手間がかかっている。
	外出頻度	自宅の庭で30分以上、花の手入れをすることが週1回あるが、外出することはないため、 「3.月1回未満」を選択する。

能力	実際に行った結果と日頃の状況が同じ場合	ベッド柵に紐をつけて、その紐につかまって自力で「寝返り」ができたため、 「2.何かにつかまればできる」を選択する。家族の話では、 日頃も同様でできるとのことである。 より頻回な状況に基づき選択する。
	実際に行った結果と日頃の状況が違う場合	調査時には、ベッド柵につかまれば自力で「寝返り」ができた。しかし、 家族の話では、 めまいがひどい日があり (1回/週程度) 、「3.できない」状態になることがあるとのこと。 より頻回な状況に基づき「2.何かにつかまればできる」を選択する。
	実際に行ってもらえなかった場合	調査時、体調が少し悪いとのことで、調査対象者に実際に行ってもらえなかった。 家族の話では、 何かにつかまっても自力で「起き上がり」ができないということで、 より頻回な状況に基づき、「3.できない」を選択する。
	身振りで確認できる場合	失語症で、手指機能の低下により文字で書くこともできないが、 身振りから、「意思の伝達」ができていますと確認できたため、「1.調査対象者が意思を他者に伝達できる」を選択する。
介助	行為自体が発生しない場合 (行為があると想定)	医学的な理由から、一週間以上に渡り「移動」の 機会が全くないが、 四肢ともに筋力の低下が顕著であり、車椅子自走も不可能と 判断し「4.全介助」を選択する。
	行為自体が発生しない場合 (類似の行為で代替) 1-11, 2-8・9・11に限る	頭髪がなく、「整髪」を全く行っていないが、寝たきり状態で、毎日頭部の汗を拭き取るなどの 介助が行われていることから、類似の行為で代替して評価し、「3.全介助」を選択する。
	介助が不適切と思われ、適切な介助を選択した場合	独居で、介護者がおらず、本人の話では入浴は問題なく行っているとのことであるが、汗疹ができており、本人も掻きむしっていることから、 不適切な状況と判断し、適切な介助の方法を選択する。 肩関節に強い拘縮があることなどから 「2.一部介助」を選択する。
	介護者による介助が、むしろ本人の自立を阻害しているような場合	デイサービスで入浴後に、施設職員が切っているが、デイサービスに行かないときなどは自分でできることもあるとのこと。身体機能維持の観点から、 不適切な状況にあると判断し、適切な介助の方法を選択する。 ビーズ手芸などを趣味にしており、細かい作業や、はさみなども使用することなどから、 「1.介助されていない」を選択する。
	時間帯や体調等によって介助の方法が異なる場合	居室の隣にあるトイレまでの「移動」 (5回程/日) など、通常は自力で介助なしで行っているが、食堂 (3回/日) 及び浴室 (3回/週) への車いすでの「移動」は、介助が行われている。 より頻回の状況から「1.介助されていない」を選択する。

※それぞれの状況に応じた太字部分の特記事項に必ず入れてください。